

2009年度決算説明会
決算概要および業績予想

2010年5月11日



社長 廣瀬 博

2009年度決算概要

2009年度業績

	2008年度	2009年度	前期比
売上高	1兆7,882億円	1兆6,209億円	1,673億円
営業利益	21億円	515億円	+493億円
経常利益	326億円	350億円	+676億円
純利益	592億円	147億円	+739億円
ナフサ価格	58,900円/kl	41,200円/kl	
為替レート	100.71円/ドル	92.89円/ドル	
年間配当金	9円/株	6円/株	

2009年度 売上高分析

(単位: 億円)

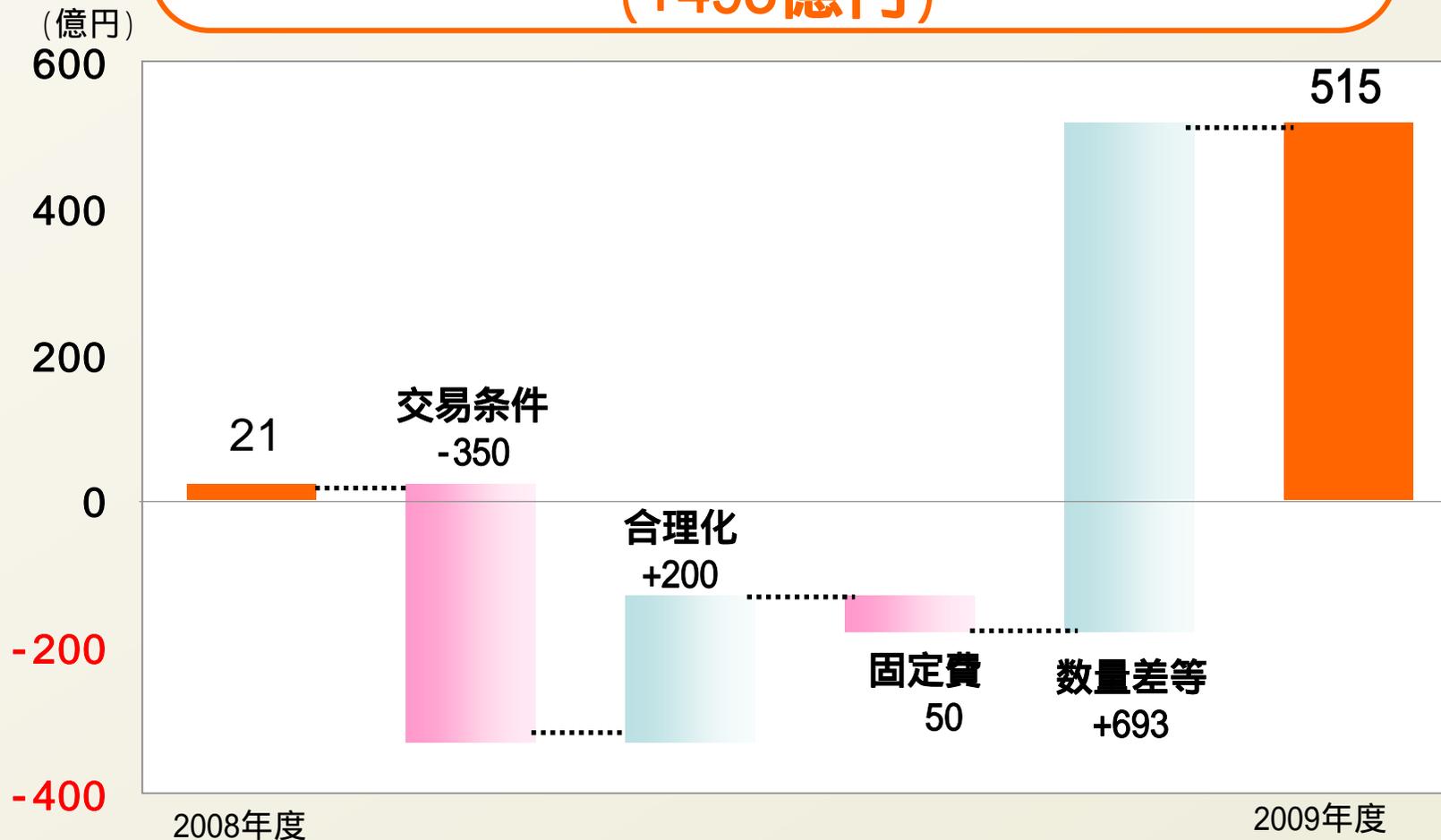
	2008年度	2009年度	前期比
基礎化学	2,400	2,033	367
石油化学	5,530	4,815	714
精密化学	808	676	132
情報電子化学	3,071	2,652	419
農業化学	2,222	2,115	107
医薬品	2,356	2,675	+319
その他	1,495	1,243	253
連結合計	17,882	16,209	1,673

売価差	数量差
410	+43
1,270	+556
40	92
400	19
70	37
-	+319
-	253
2,190	+517

海外売上高	7,498	7,289	209
海外売上高比率	42%	45%	

2009年度 営業利益分析

2008年度 21億円 2009年度515億円
(+493億円)



2009年度 部門別営業利益

(単位:億円)

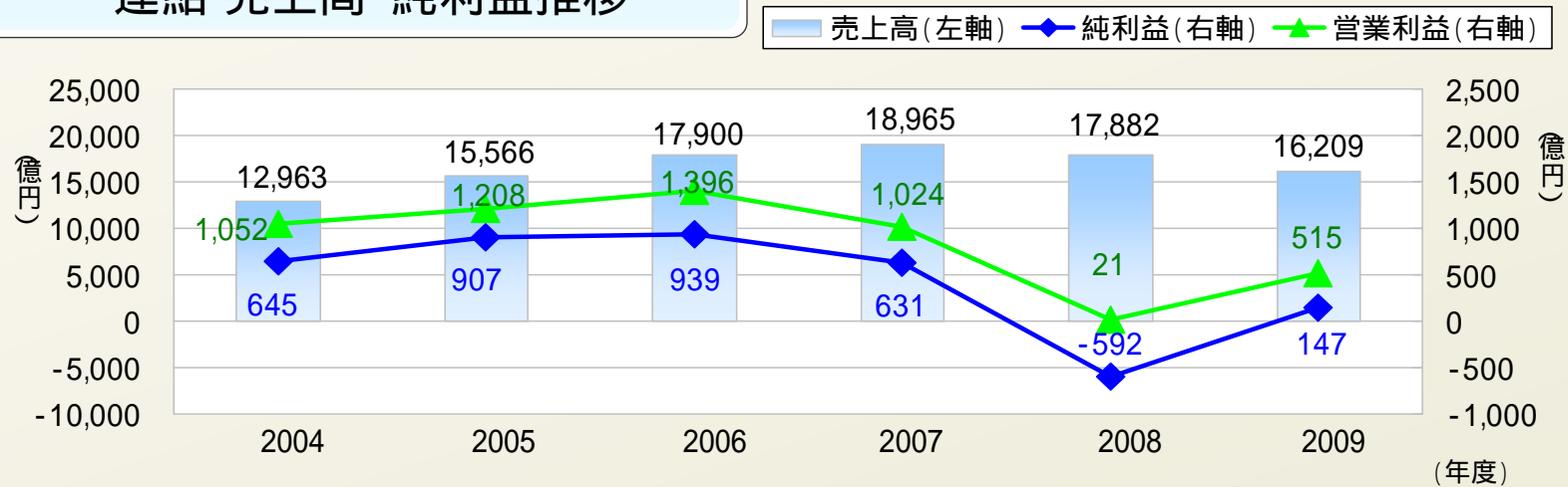
	2008年度	2009年度	対前期比	主な利益増減要因
基礎化学	153	27	+127	<ul style="list-style-type: none"> ・在庫評価損益改善 ・シンガポール固定費減少
石油化学	303	53	+250	<ul style="list-style-type: none"> ・在庫評価損益改善 ・販売数量増加
精密化学	16	15	1	<ul style="list-style-type: none"> ・販売数量減少
情報電子化学	10	33	+43	<ul style="list-style-type: none"> ・合理化の進展 ・販売数量増加
農業化学	244	259	+15	<ul style="list-style-type: none"> ・販売数量増加
医薬品	324	293	30	<ul style="list-style-type: none"> ・退職給付数理差異の負担増加 ・買収に伴う特許権償却費等
その他	96	6	+90	<ul style="list-style-type: none"> ・研究開発一時負担減少
全社合計	21	515	+493	

2009年度業績

	2008年度	2009年度	前期比
売上高	1兆7,882億円	1兆6,209億円	1,673億円
営業利益	21億円	515億円	+493億円
経常利益	326億円	350億円	+676億円
純利益	592億円	147億円	+739億円
ナフサ価格	58,900円/kl	41,200円/kl	
為替レート	100.71円/ドル	92.89円/ドル	
年間配当金	9円/株	6円/株	

連結業績・有利子負債の推移

連結 売上高・純利益推移



有利子負債残高・D/Eレシオ



2010年度業績予想

2010年度業績予想

	2009年度	2010年度(予想)	前期比
売上高	1兆6,209億円	2兆円	+3,791億円
営業利益	515億円	350億円	165億円
経常利益	350億円	350億円	±0億円
純利益	147億円	250億円	+103億円
E B I T D A	1,672億円	2,000億円	+328億円
ナフサ価格	41,200円/kl	50,000円/kl	
為替レート	92.89円/ドル	90円/ドル	
年間配当金	6円/株	9円/株	

2010年度 売上高分析

(単位:億円)

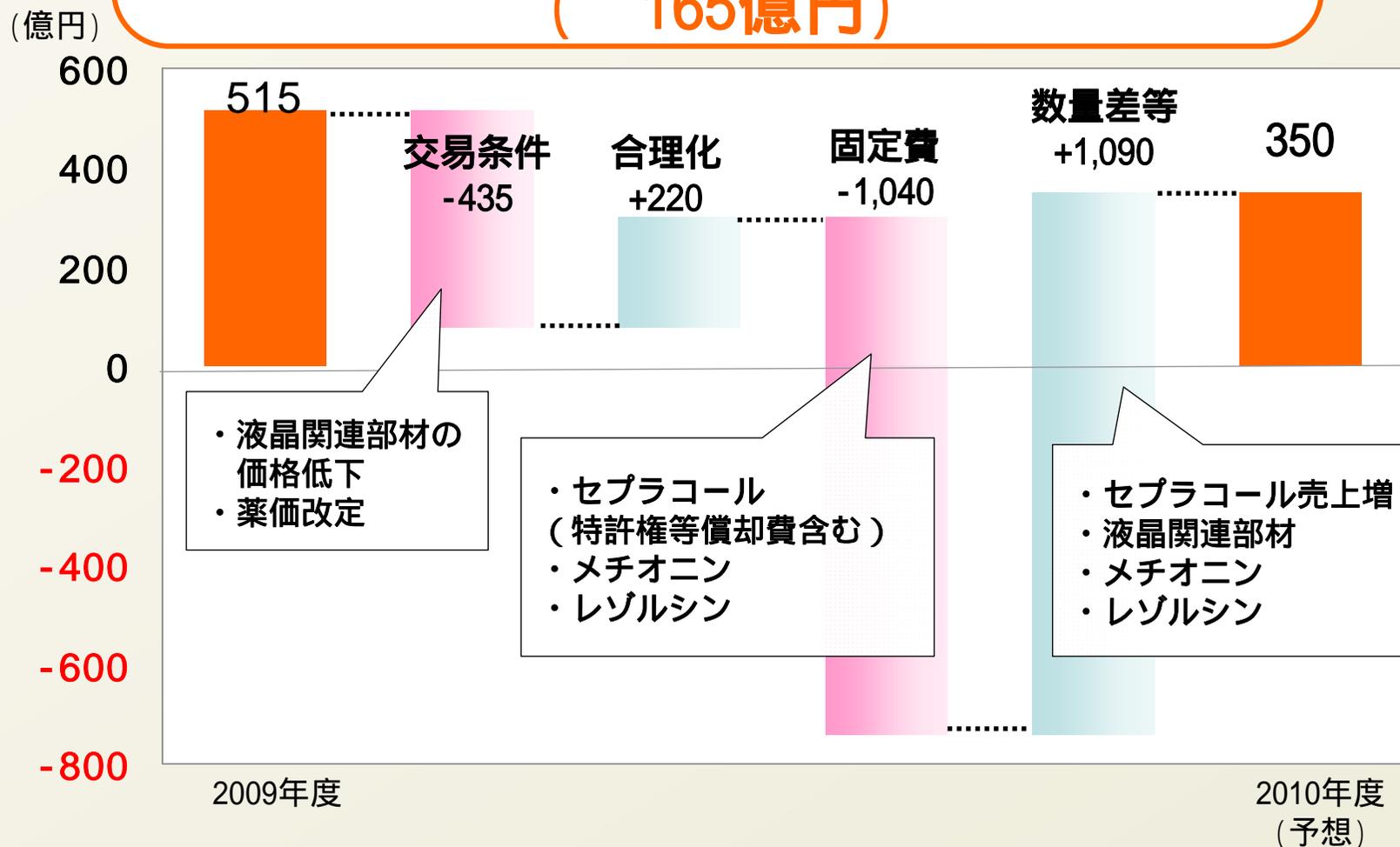
	2009年度	2010年度	前期比	売価差	数量差
基礎化学	2,033	2,350	+317	+145	+172
石油化学	4,815	7,000	+2,185	+880	+1,305
精密化学	676	950	+274	0	+274
情報電子化学	2,652	3,150	+498	290	+788
農業化学	2,115	2,200	+85	20	+105
医薬品	2,675	3,450	+775	150	+925
その他	1,243	900	343	-	343
連結合計	16,209	20,000	+3,791	+565	+3,226

注:一部の連結子会社を「その他」から「精密化学」にセグメントを変更している(影響額 191億円)。

海外売上高	7,289	10,600	+3,311
海外売上高比率	45%	53%	

2010年度 営業利益分析

2009年度 515億円 2010年度350億円
(165億円)



2010年度 部門別営業利益

(単位:億円)

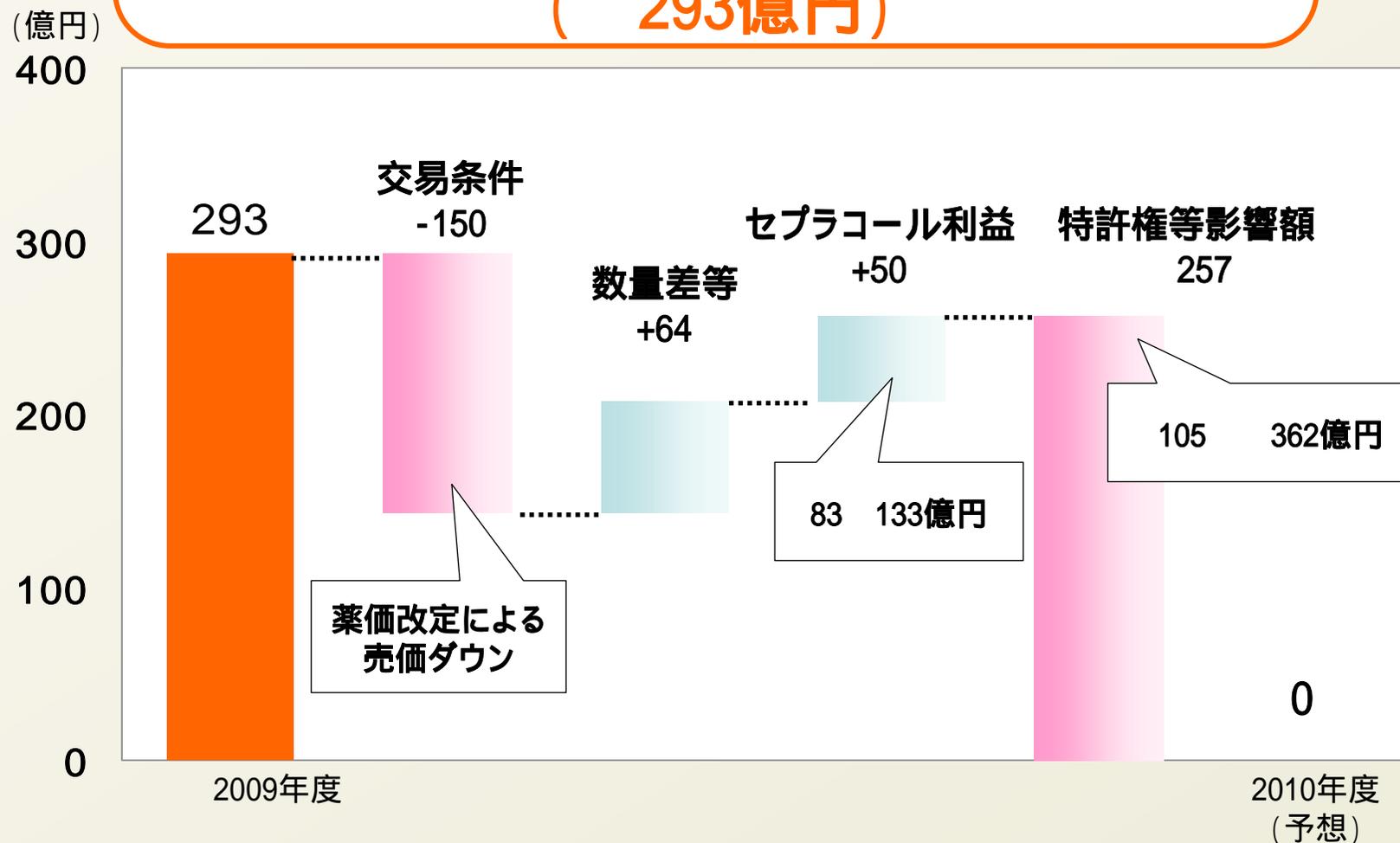
	2009年度	2010年度	対前期比	実質差異	主な利益増減要因
基礎化学	27	40	+67	+27	・販売数量増加 ・交易条件改善
石油化学	53	90	+143	+92	・交易条件改善 ・販売数量増加
精密化学	15	25	+10	11	・レゾルシン生産能力増加 ・減価償却費増加
情報電子化学	33	185	+152	+122	・合理化の進展 ・販売数量増加
農業化学	259	240	19	52	・メチオニン生産能力増加 ・減価償却費増加
医薬品	293	0	293	298	・買収に伴う償却費等増加 ・薬価改定
その他	6	230	224	44	・エンジニアリング事業と発電事業が減益
全社合計	515	350	165	165	

注1. 2010年度から全社共通研究費等の配賦方法を見直している。

注2. 一部の連結子会社を「その他」から「精密化学」にセグメントを変更している。

2010年度 営業利益分析(医薬品部門)

2009年度 293億円 2010年度 0億円
(293億円)



2010年度業績予想

	2009年度	2010年度(予想)	前期比
売上高	1兆6,209億円	2兆円	+3,791億円
営業利益	515億円	350億円	165億円
経常利益	350億円	350億円	±0億円
純利益	147億円	250億円	+103億円
EBITDA	1,672億円	2,000億円	+328億円
ナフサ価格	41,200円/kl	50,000円/kl	
為替レート	92.89円/ドル	90円/ドル	
年間配当金	6円/株	9円/株	

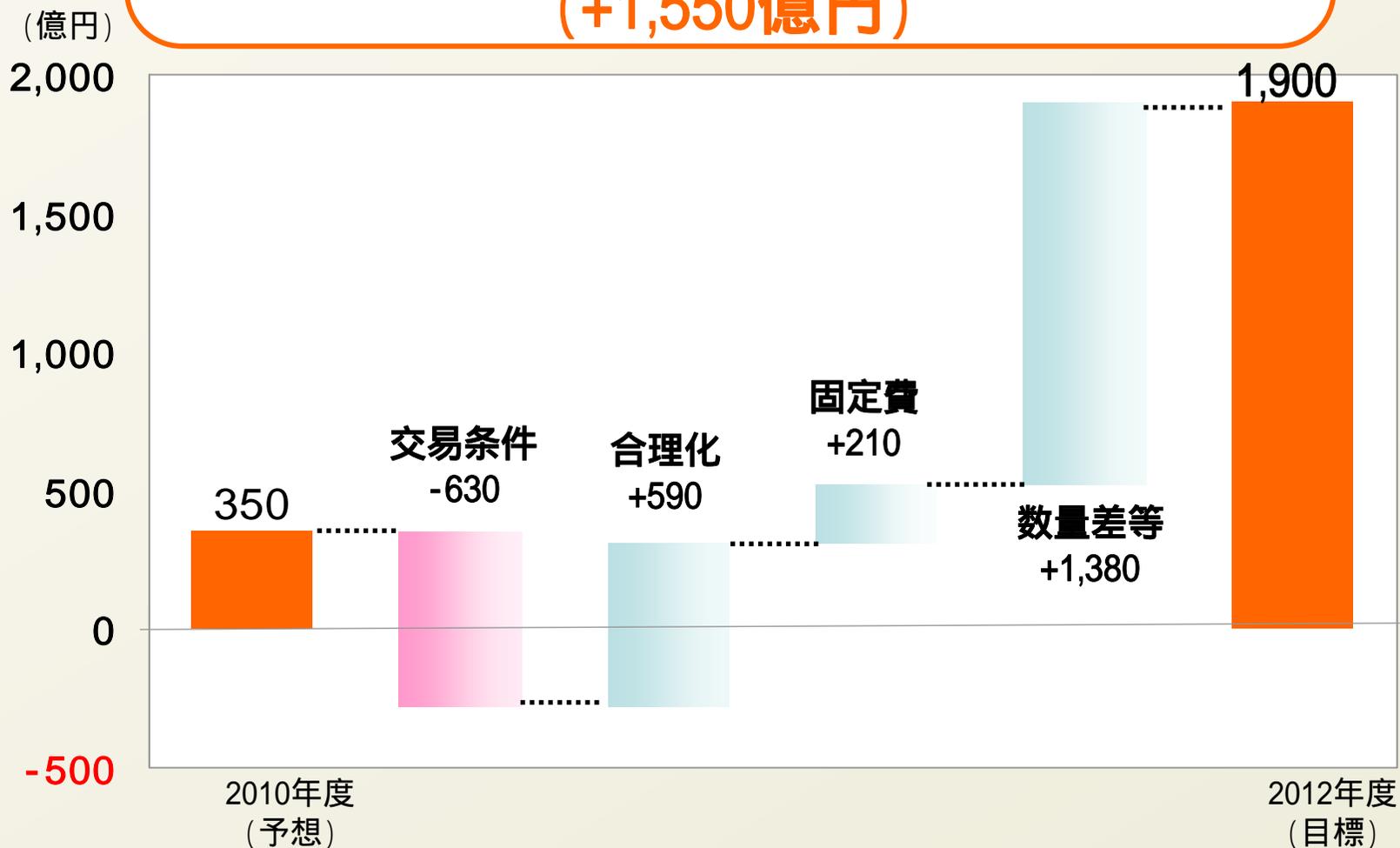
中期経営計画の達成に向けて

2010年度予想 vs. 2012年度目標

	2010年度(予想)	2012年度(目標)	増減
売上高	2兆円	2兆4,000億円	+4,000億円
営業利益	350億円	1,900億円	+1,550億円
経常損益	350億円	2,200億円	+1,850億円
純損益	250億円	1,400億円	+1,150億円
ナフサ価格	50,000円/kl	50,000円/kl	
為替レート	90円/ドル	90円/ドル	

2010年度 vs. 2012年度 営業利益分析

2010年度 350億円 2012年度1,900億円
(+1,550億円)



2010年度 vs. 2012年度 部門別売上高・営業利益

(単位:億円)

		10年度 (予想)	12年度 (目標)	増減	主な営業利益増減要因
基礎化学	売上高	2,350	2,700	+350	<ul style="list-style-type: none"> メタクリル樹脂の拡販 アルミナ事業の拡大 安価購買・合理化の促進
	営業利益	40	170	+130	
石油化学	売上高	7,000	7,850	+850	<ul style="list-style-type: none"> 交易条件の改善 製品構成の一層の高付加価値化
	営業利益	90	300	+210	
精密化学	売上高	950	1,350	+400	<ul style="list-style-type: none"> レゾルシン増強効果の最大化 医薬化学品事業の拡大
	営業利益	25	160	+135	
情報電子化学	売上高	3,150	3,950	+800	<ul style="list-style-type: none"> 偏光フィルム事業の拡大・強化 フォトレジスト事業の攻勢 電池部材事業の早期収益化
	営業利益	185	440	+255	
農業化学	売上高	2,200	2,700	+500	<ul style="list-style-type: none"> 農業事業の販売地域拡大・新規市場への参入 生活環境事業分野の家庭防疫薬および周辺分野への事業拡大 飼料添加物事業の規模拡大
	営業利益	240	480	+240	
医薬品	売上高	3,450	3,900	+450	<ul style="list-style-type: none"> ルラシドンの上市・販売拡大 セブラコール買収にかかる無形資産償却費の減少
	営業利益	0	380	+380	
その他	売上高	900	1,550	+650	<ul style="list-style-type: none"> 高分子有機EL材料の販売開始
	営業利益	230	30	+200	
全社	売上高	20,000	24,000	+4,000	
	営業利益	350	1,900	+1,550	

基礎化学部門

2012年度目標

売上高 2,700億円

営業利益 170億円

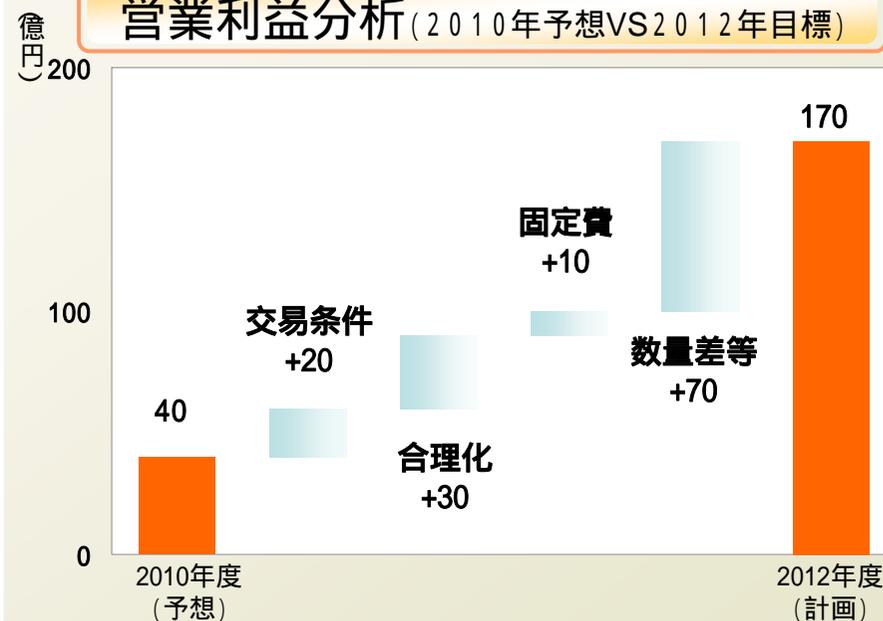
目標達成に向けた前提・取り組み課題

メタクリル樹脂の拡販

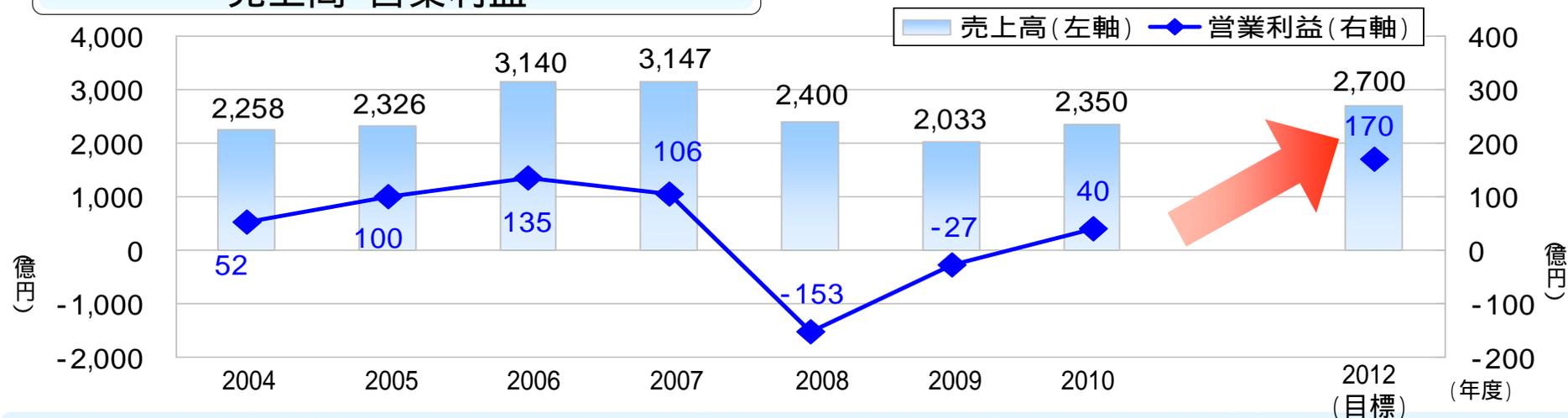
アルミナ事業の拡大

安価購買・合理化の推進

営業利益分析(2010年予想VS2012年目標)



売上高・営業利益



石油化学部門

2012年度目標

売上高 7,850億円

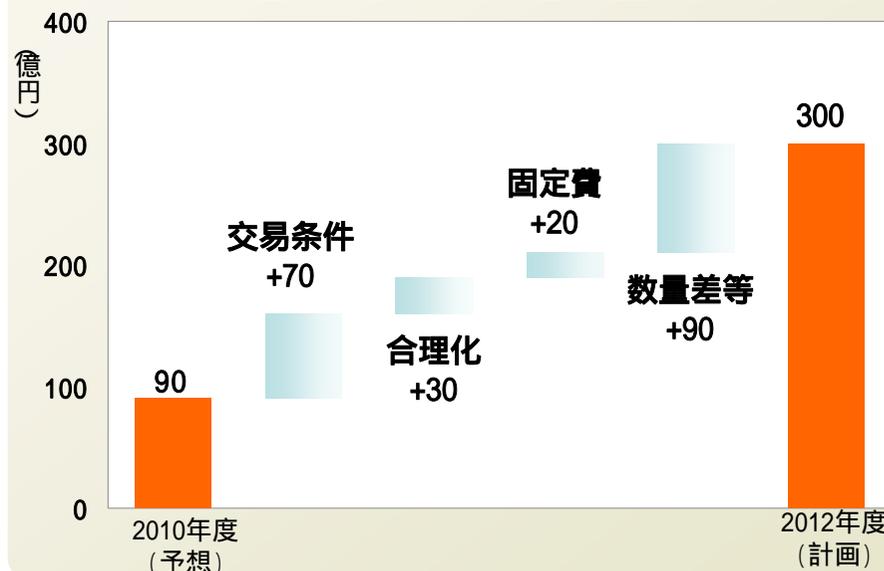
営業利益 300億円

目標達成に向けた前提・取り組み課題

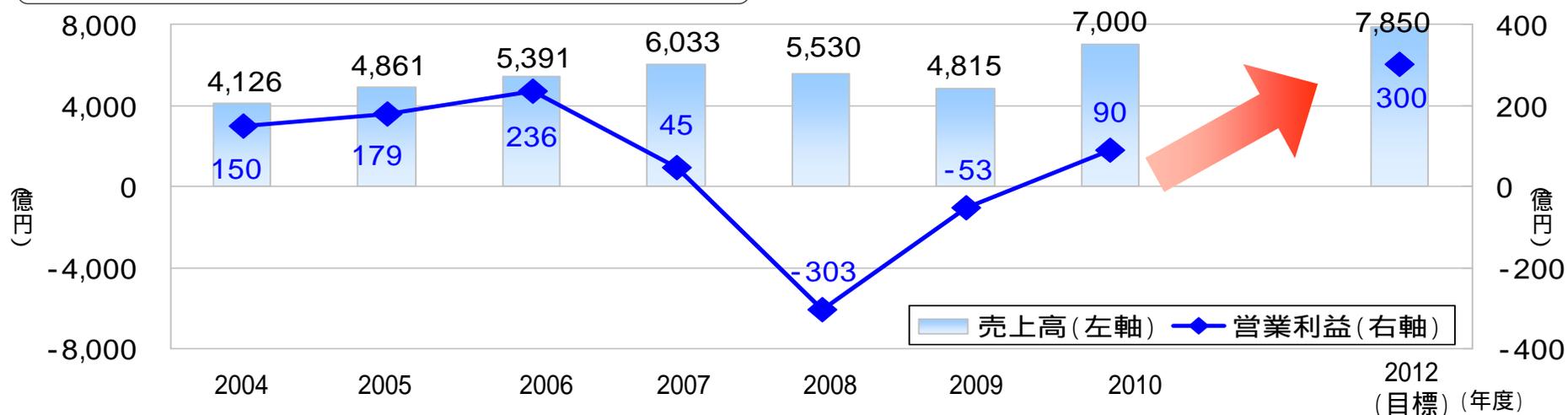
交易条件の改善

製品構成の一層の高付加価値化

営業利益分析(2010年予想VS2012年目標)



売上高・営業利益



精密化学部門

2012年度目標

売上高 1,350億円

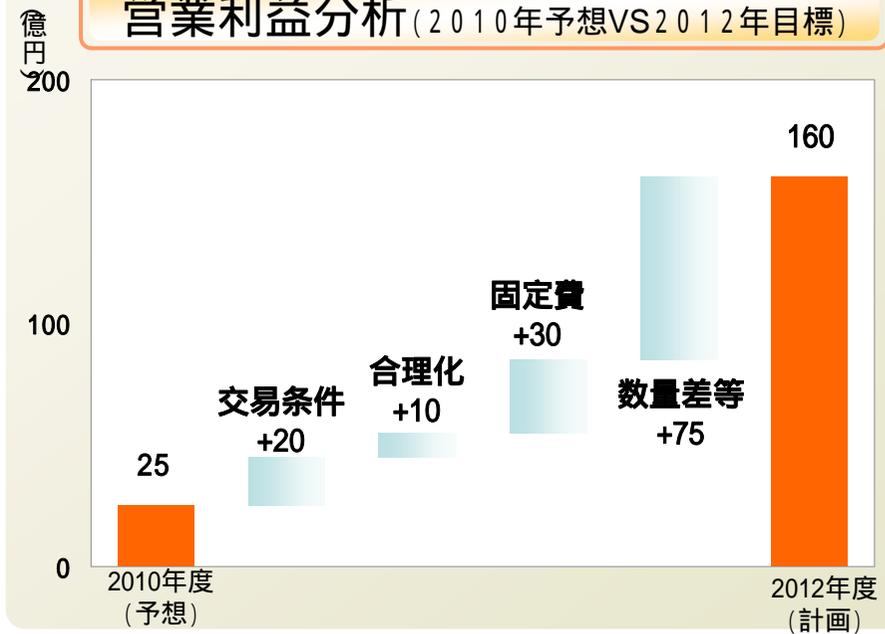
営業利益 160億円

目標達成に向けた前提・取り組み課題

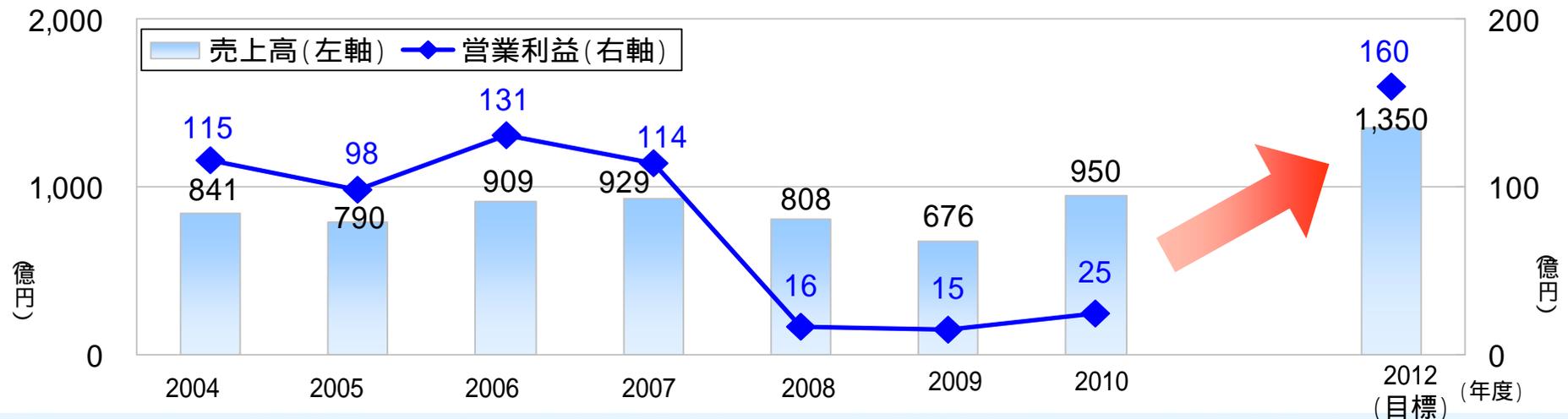
レゾルシン増強効果の最大化

医薬化学品事業の拡大

営業利益分析(2010年予想VS2012年目標)



売上高・営業利益



情報電子化学部門

2012年度目標

売上高 3,950億円

営業利益 440億円

目標達成に向けた前提・取り組み課題

偏光フィルム事業の拡大・強化

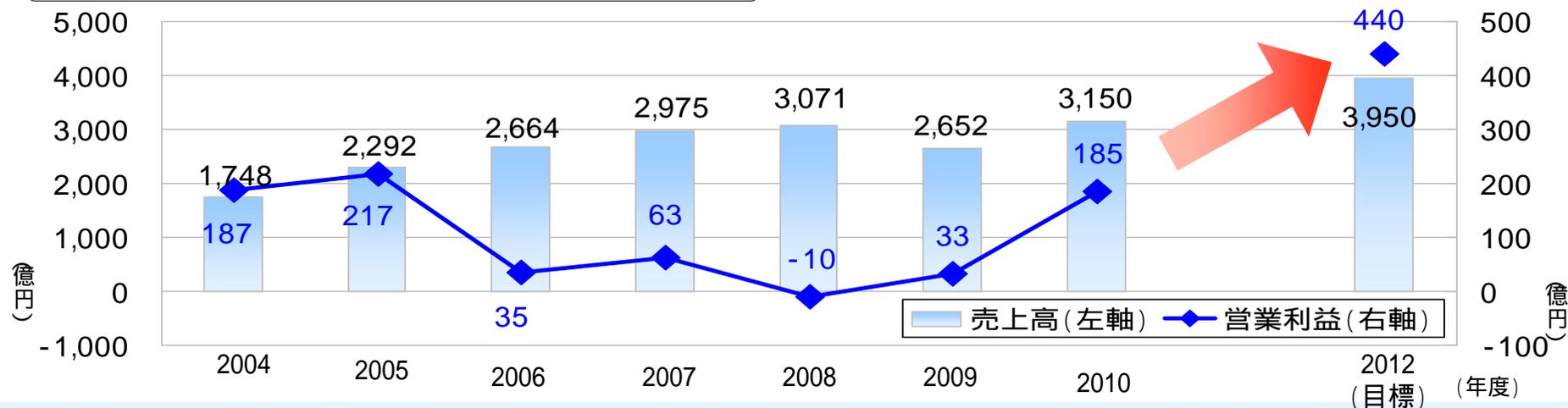
フォトレジスト事業の攻勢

電池部材事業の早期収益化

営業利益分析(2010年予想VS2012年目標)



売上高・営業利益



農業化学部門

2012年度目標

売上高 2,700億円

営業利益 480億円

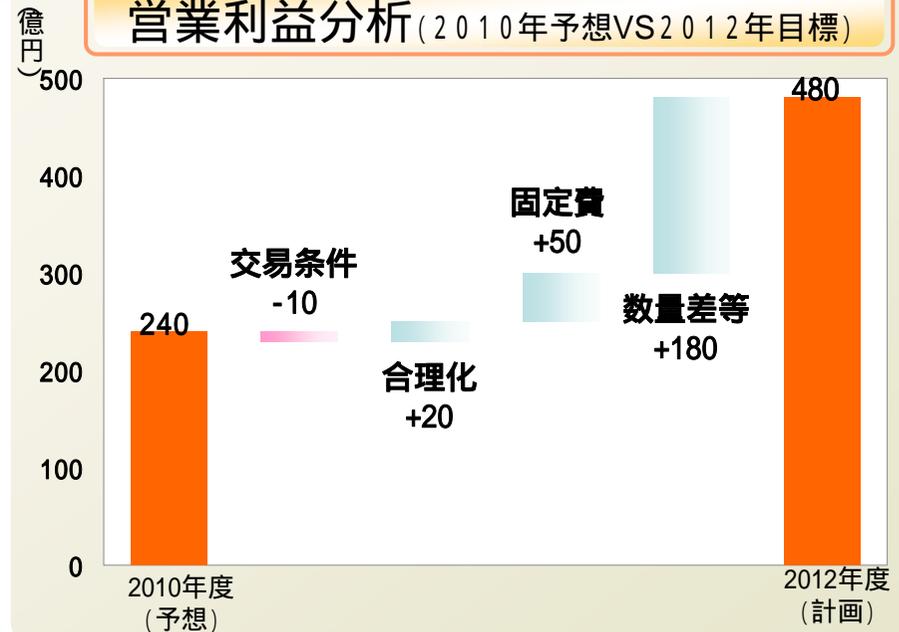
目標達成に向けた前提・取り組み課題

農薬事業の販売地域拡大・新規市場への参入

生活環境事業分野における家庭用防疫薬および周辺分野への事業拡大

飼料添加物事業の規模拡大

営業利益分析(2010年予想VS2012年目標)



売上高・営業利益



Nufarm社との包括的業務資本提携

Nufarm社の概要

1. 社名：Nufarm Limited(以下N社)
2. 設立：1957年
3. 売上高：2,677百万豪ドル(約2,142億円)
(2009年7月期決算)
4. 本社所在地：オーストラリア連邦メルボルン
5. 従業員：3,155人(2009年7月末現在)
6. CEO：Doug Rathbone(ダグ・ラスボーン)

資本提携の概要

1. 公開買付の概要
 - ・買付期間：2010年3月12日～4月9日
 - ・買付価格：1株あたり14豪ドル
 - ・買付総額：約611百万豪ドル(約513億円)
 - ・対価支払・株式取得：2010年4月15日
 - ・買付後の当社持株比率：20%
2. 新株発行による増資引受の概要
 - ・増資日：2010年5月5日
 - ・引受金額：50百万豪ドル(約43億円)
(総増資額250百万豪ドルの20%)

包括的業務資本提携の狙い

農薬製品の販売、研究開発等の各分野における包括的な事業提携による、さらなる農薬事業の強化・拡大

中期経営計画最終年度である2012年度において、100億円の税引前利益増加(持分法利益含む)を織り込んでいる

業務提携の進捗

1. Nufarm社販路による当社品の販売
 - ・ブラジル：販売契約締結済(2010年2月)
2010年10～12月に販売開始予定
 - ・インドネシア、中東欧、カナダ等：販売契約交渉中
2. 当社販路によるNufarm社品の販売
 - ・詳細交渉を開始
3. 共同研究開発
 - ・以下に関する契約を交渉中
お互いの製剤技術を用いた製品開発
当社新規剤のNufarm社での評価

医薬品部門

2012年度目標

売上高 3,900億円

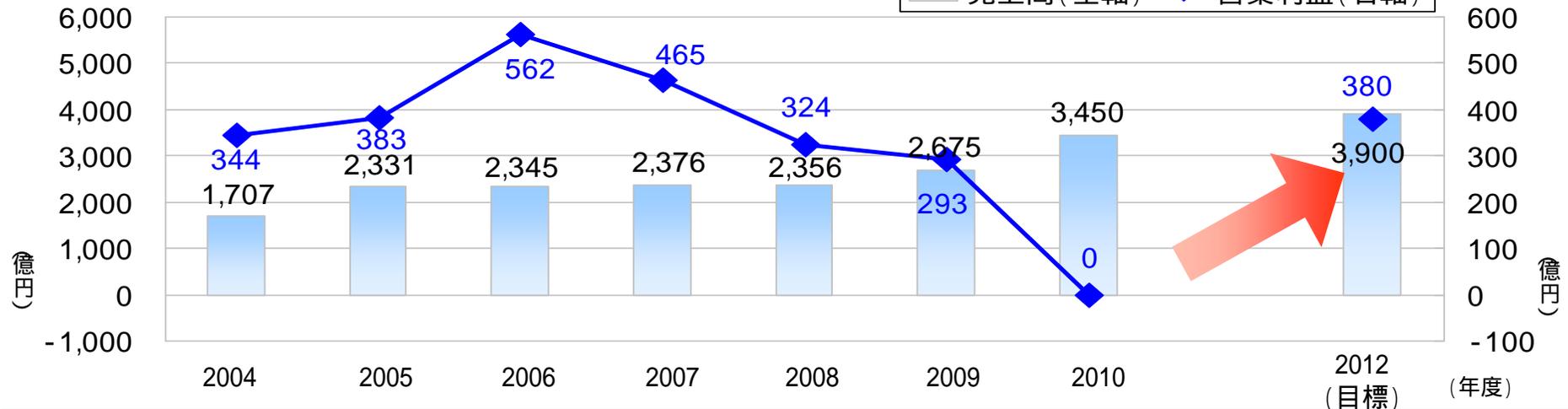
営業利益 380億円

目標達成に向けた前提・取り組み課題

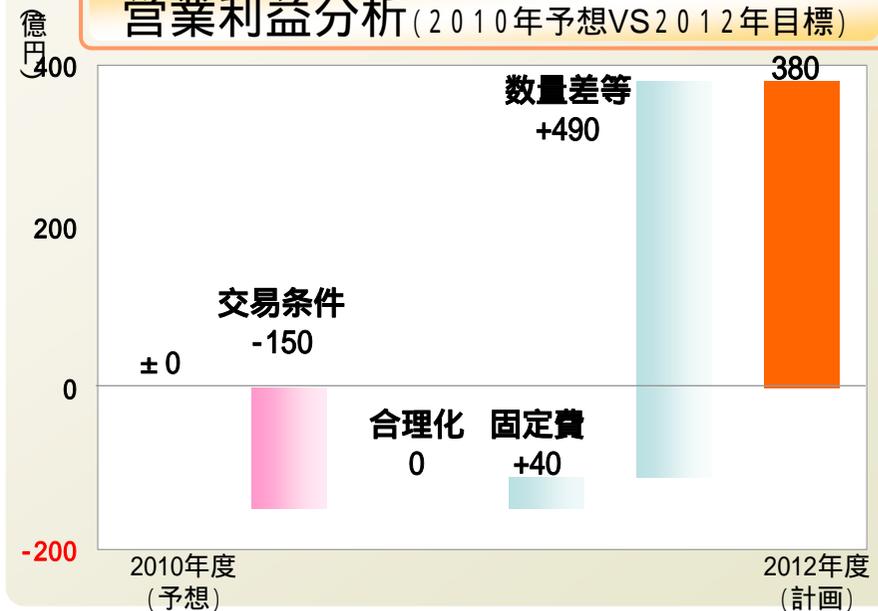
ルラシドンの上市、販売拡大

セプラコール買収にかかる特許権
償却費等の減少

売上高・営業利益



営業利益分析 (2010年予想VS2012年目標)



ルラシドン上市に向けた取り組み

統合失調症

北米

2009年12月 FDA申請(9ヶ月前倒し)
2010年10月 FDA審査結果入手予定
2011年1Q 上市予定

欧州

販売提携先を検討中

決定後、欧州申請に必要な追加試験を経て上市(時期未定)

日本・韓国・台湾

2008年 日本・韓国・台湾の共同治験開始
試験成績をもとに国内承認申請を検討

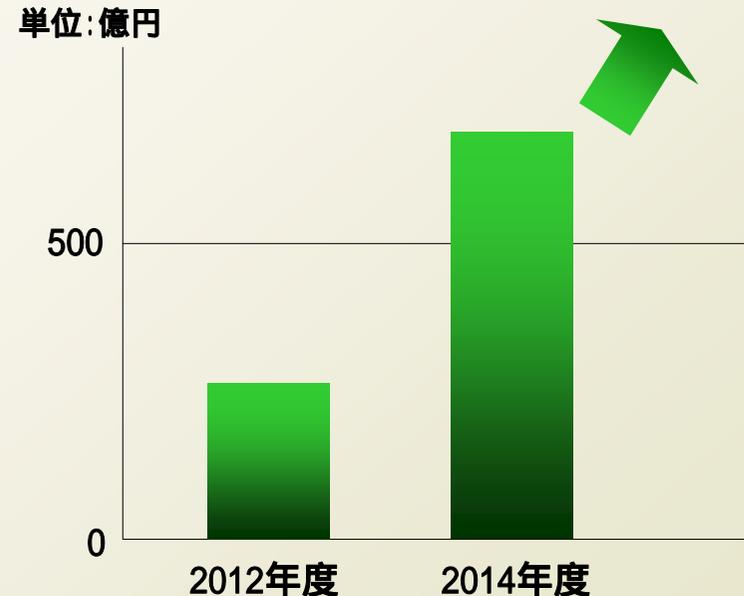
双極性障害

2008年12月 第 相試験開始
2012年前半 米国FDA申請(予定)
2013年 効能取得(予定)

北米における販売体制

上市時はMR300名を予定
(セプラコールMR + 新規採用)
承認取得次第、新規採用開始
双極性障害効能追加時に増員予定

ルラシドン売上高予想



財務体質の改善

キャッシュフロー

(単位:億円)

	2007～2009年度	2010年度 (予想)	...	2010～2012年度 (中期経営計画目標)
営業キャッシュフロー	3,679	1,200	...	5,100
投資キャッシュフロー	-6,583	1,800	...	5,100
フリーキャッシュフロー	-2,904	-600	...	0

有利子負債残高・D/Eレシオ



Creative Hybrid Chemistry



注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。